

プロジェクターを 東安中に1台贈る

サマーホーム
大垣西濃信金

住宅メーカーのサマーホーム(大垣市墨俣町さい川、安田勇二社長)と大垣西濃信用金庫は6日、安八町東結の東安中学校に液晶プロジェクター1台(10万円相当)を寄贈した。

発行手数料の一部を企業が指定した学校などへの寄付に充てる同金庫の地域貢献型私募債「絆」を活用。同社の事務所が東安中に近いことから寄贈先を選んだ。

安田社長と同金庫の清水伸太郎大垣インター支店長

液晶プロジェクターの寄贈を
喜ぶ関係者＝安八町東結、東
安中学校



が学校を訪れ、安田社長が「ぜひたくさん活用してほしい」と、木下隆一校長に目録を手渡した。

木下校長は「授業や生徒会行事など多くの場面で活用したい」と感謝。生徒会長の3年清水透真さん(15)は「プロジェクターの活用で授業が分かりやすくなり、より集中できる。ありがとう」とお礼の言葉を述べた。
(武藤直子)